

## 共同生活援助 グループホーム清久 事業報告

平成 29 年度事業計画に基づき、以下のとおり事業を運営しました。

### 1 定員の充足

- ・男性 1 名が悪性腫瘍になり入院中でしたが、5 月に亡くなりました。享年 76 歳でした。
- ・6 月に男性 1 名がグループホーム体験利用を経て、新たに入居しました。
- ・老朽化している賃貸物件(仁丁町)の改築を視野に入れ、定員充足はせずに改築中に入居者が仮住いできるようにしました。空き居室は、体験利用や短期入所の居室とし活用しました。
- ・現在の入居者の状況は以下の通りです。

#### (1) 定員内訳

\* ( ) カッコは短期入所の人数

	清久	ハイツ	上清久	のぎわら	こがらい	仁丁町	おぎそね	こすもす	うちや	合計
定員	7 名	4 名	4 名	3 名	7 名	4 名	7 名	4 名	4 名 (1 名)	44 名 (1 名)
現員	5 名	3 名	4 名	2 名	6 名	4 名	7 名	4 名	4 名 (1 名)	39 名 (1 名)

#### (2) 男女比・年齢構成

	19 歳～29 歳	30 歳～39 歳	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳～79 歳	合計
男性	4	6	6	3	3	4	26
女性	0	0	3	3	5	2	13

#### (3) 平均年齢

	平均年齢 (男女別)	平均年齢 (全体)
男性	48.5 歳	52.4 歳
女性	60 歳	

#### (4) 障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性	0	5	3	12	4	2	26
女性	0	0	4	6	3	0	13
計	0	5	7	18	7	2	39

#### (5) 療育手帳・身体手帳・精神手帳の所持状況

	療育手帳					身体障害者手帳				精神保健手帳		
	㊦	A	B	C	なし	1 級	2 級	3 級	なし	1 級	2 級	なし
男性	1	7	14	3	1	0	1	1	24	0	2	24
女性	1	8	3	1	0	0	0	1	12	0	2	11
計	2	15	17	4	1	0	1	2	36	0	4	35

<日中活動場所>

○就労

会社名	仕事内容	人数
(株)なとり	食品加工・荷物運び	2人
(株)ウィズウェイストジャパン	リサイクル選別	2人
(有)高野産業	配送補助	1人
松勘工業(株)	武道具生産	1人
(福)久喜けいわ	洗濯・清掃・入浴補助	2人
(株)ネアス	クリーニング・掃除	1人
(株)流通サービス	物流・箱出し	1人
(株)吉野家ホールディングス	食肉加工	1人
アイワイフーズ(株)	食品製造	1人

○福祉事業所

事業所名	サービス内容	人数
久喜けいわ	生活介護	4人
久喜けいわ	就労継続B型	15人
久喜けいわ	就労移行	1人
久喜市 あゆみの郷	生活介護	3人
久喜市 あゆみの郷	就労継続B型	1人
宮代町 ひまわりの家	生活介護	1人
白岡市 めぐみの里	就労継続B型	1人
宮代町 アバンティ	自立訓練	1人
久喜市 偕楽荘	デイサービス	2人 (久喜けいわ・あゆみの郷と併用利用)

2 利用者支援

(1) 地域生活者としての自立支援

- ・日常生活のさまざまな場面で、入居者のひとりひとりが、要望や意見が言えるように、個々にあわせた環境や支援の取り組みを行いました。
- ・金銭管理について、その人なりに自己管理できるようにしました。計画的にお金を使えるように、必要に応じて購入するものや外出の予定などを一緒に決めました。

(2) 健康管理の充実

- ・年に1回、就労先や啓和会が行う健康診断を受けました。有所見者に対しては、嘱託医に相談し必要に応じて病院に受診しました。
- ・年令と共に生活習慣病の入居者が増えてきました。食事面に関しては、必要に応じて管理栄養士に食事相談をし、アドバイスを参考にバランスの良い食事提供をしました。また、適度な運動を心がけました。
- ・健康状況の把握は毎日各ホームにて行いました。日頃より、手洗い・うがいの実施と希望者にはインフルエンザの予防接種を実施し、感染予防に努めました。2名インフルエ

ンザに感染しましたが、適切な処置を行い感染拡大には至りませんでした。

- ・変形股関節症の入居者に対して、医師の所見のもと、本人家族の意向で人工関節置換手術を行い、長年の痛みから解放されました。

### (3) 余暇活動の充実

- ・地域行事には積極的に参加し、地域の人と交流しながら楽しむことができました。
- ・入居者の要望から、映画鑑賞やコンサート、日帰りバスツアーや1泊旅行に出かけ、楽しむことができました。
- ・休日は、友人同士で買い物や外食、美容室へ出かけたり、部屋で対戦ゲームをしたりして過ごすこともありました。
- ・「陶芸をやってみたい」という入居者の声から、陶芸の先生をお呼びして陶芸教室を開催するようになりました。希望者10名が参加しています。

## 3 地域との共生

- ・地域住民の一員としての役割として、地区の清掃や草むしり、ゴミ当番、きよく大運動会のテント設営、地域行事の準備等を手伝いました。
- ・「清久婦人会」に4名の入居者が入会しており、会員として地域活動や交流会、地域行事の手伝い等に参加しました。

## 4 危機管理の徹底

- ・各ホームで危険箇所の点検と老朽箇所のメンテナンスを定期的に行い、修繕が必要な箇所は速やかに対応しました。
- ・久喜消防署立会いの下、消火訓練、通報訓練、避難訓練を行いました。また、久喜市総合防災訓練や地区の防災訓練には必ず参加し、消火訓練や炊き出し訓練を行いました。地域の人に顔を覚えていただくとともに、実践を通し、入居者と職員の防災に対する意識を高めるように努力しました。
- ・交通安全については、自転車や徒歩での通勤や外出で危険個所の確認を行い、交通ルールの再確認を行いました。

## 5 関係機関との連携

- ・支援センターと連携し、圏域内の在宅障害者の体験利用や短期入所を積極的に受け入れました。
- ・ホームから単身生活に移行した人の相談や訪問等を支援センターと協力して行いました。
- ・高齢者施設のディサービスを利用している入居者に対し、高齢者施設の職員やケアマネージャーと協力して支援しました。

## 6 施設整備

- ・グループホーム仁丁町(賃貸)の建て替えについては、引き続き家主・法人本部と話し合いを行っています。
- ・スプリンクラーの設置が必要なホームに関しては、法人本部と連携し設置が完了しました。

## 7 人材育成・確保

- ・虐待防止研修に多くの職員が参加しました。権利擁護の知識や意識を高め、日々の支援の振り返り、入居者へのサービスの質の向上に努めました。
- ・職員の離職は、職員自身の健康や家族の病気などの理由がありました。職員の高齢化についても課題になっています。

### ○研修実績

#### (外部研修)

研修名	主催	日時	場所	参加者
青年部会研修（第1回）	埼玉県発達障害福祉協会	5/18	すこやかプラザ	相馬
感染症専門研修	埼玉県社会福祉協議会	6/23	埼玉会館	清水
全国グループホーム等 研修会(北陸地区 in 福井)	日本知的障害福祉協会 北陸地区知的障害者協会 福井県知的障害者福祉協会	9/21	福井県フェニックスプラザ	清水
青年部会研修（第2回）	埼玉県発達障害福祉協会	8/24～25	山梨市（社福） 三富福祉会	相馬
サービス管理者勉強会	埼玉葛北自立支援協議会	9/1	はびす白岡	高瀬 清水
サービス管理責任者研修	埼玉県	11/7.8	さいたま市文化センター	相馬
青年部会研修（第3回）	埼玉県発達障害福祉協会	11/24	すこやかプラザ	相馬
サービス管理責任者研修	埼玉県	12/18.19	すこやかプラザ	高瀬
グループホーム世話人研修	埼玉県発達障害福祉協会	12/19	久喜市総合文化会館	小池真 今井 飯島 浅野 内海 高橋朋 高橋京 嶋田 高橋俊
サービス管理者勉強会	埼玉葛北自立支援協議会	1/16	久喜市ふれあいセンター	高瀬 相馬
埼玉県災害派遣福祉チーム 登録時研修	埼玉県	1/24	埼玉県小児医療センター	矢治
埼玉県 障害者虐待防止・権利擁護研修	埼玉県	2/5	すこやかプラザ	高垣
青年部会研修（第4回）	埼玉県発達障害福祉協会	2/20	市民会館うらわ	相馬
サービス管理者勉強会	埼玉葛北自立支援協議会	3/2	ウェルス幸手	相馬

#### (法人内部研修)

研修名	内容	日時	場所	参加者
虐待防止研修	グレーゾーンを考える	9/19	久喜けいわ機能訓練棟	矢治 齋藤暁 齋藤弘
職員基礎研修	法人の成り立ち他	11/21	久喜けいわ機能訓練棟	小池由 嶋田 小池真 高橋朋

虐待防止研修	グレーゾーンを考える	12/7	久喜けいわ機能 訓練棟	高瀬 相馬 安達 緒方 前田 嶋田 山岸 高橋朋 森
人材育成研修	人事制度、キャリアパスについて	1/26	久喜けいわ機能 訓練棟	高瀬 相馬 高垣
虐待防止研修	グレーゾーンを考える	2/21	久喜けいわ機能 訓練棟	高垣 清水
安全運転研修	交通安全の啓発	3/6	久喜けいわ機能 訓練棟	矢治 齋藤暁 渡辺